

広報なきじん



今帰仁村の人口
昭和54年10月30日現在
男 5,072人(+3)
女 5,243人(+7)
計 10,315人(+10)
世帯数 2,744戸(+1)
()内は前月比

第49号
編集発行 今帰仁村役場企画室
沖縄県今帰仁村字仲宗根219
TEL 098056-2101
印刷 沖縄 高速印刷 興
南風原村字兼城5 7 7
TEL 0988-89-5513

湧川チームが完全優勝 —第34回村陸上競技大会—

▶完全優勝をなした湧川チーム



村体協(内間教会長)主催の「第三十四回村陸上競技大会」が、休日の十月十日午前八時半から村営グラウンドで行われました。観衆のスポーツ日和となった大会は、開会式に引き続き男子百メートル予選で幕をあげ、一般男子十九歳以下、男子三十代四種目、四十代四種目、五十歳以上三種目、女子十一種目の四十種目で競われました。熱戦の結果、男子、女子とも着実に得点を重ねた湧川チームが、男子、女子、総合とも優勝し、常勝今泊チームを振りきって完全優勝をなしました。また、男子砲丸投、三千代千五百メートル、四十代八百メートル、女子四百メートル、女子百メートルハードルの五種目に

男子砲丸投など 五種目に大会新記録

に新記録が樹立され、大会に花をそえました。大会の優勝選手におくられる恒例の村長賞と山城金長賞は、一般男子四百メートル優勝の仲村清光選手(与仲チーム)に村長賞、百メートルに優勝した上間祐選手(崎平チーム)と大城洋子選手(兼諸チーム)に山城金長賞がそれぞれおくられました。今大会の順位と各チームの得点は次のとおりです。

種目別の順位と記録

種目	1位			2位			3位		
	氏名	チーム	記録	氏名	チーム	記録	氏名	チーム	記録
(一般男子)									
100M	上間 悟	崎平	11" 8	山城 哲也	玉鈺	11" 8	轟数 照光	今	12" 2
200M	新城 満	今	24" 8	山城 哲也	玉鈺	25" 1	島袋 輝也	兼諸	25" 5
400M	仲村 清光	与仲	57" 3	大城 洋彦	湧	57" 5	玉城 啓康	玉鈺	58" 5
800M	上間 直樹	今	2' 10"	比嘉 敏夫	兼諸	2' 17" 1	大城 清彦	湧	2' 17" 7
1,500M	上間 哲	今	4' 22" 1	仲松 崇寿一	湧	4' 46" 9	謝花 喜路	天	4' 57" 1
5,000M	上間 哲	今	16' 49"	嶺井 政隆	天	17' 32"	仲松 崇寿一	湧	18' 36" 5
10,000M	上間 直樹	今	35' 49"	嶺井 政隆	天	36' 0" 3	嶺井 政規	玉鈺	42' 45"
20KM	上間 哲夫	今	1' 19" 28"	仲谷 繁伸	湧	1' 24" 20"	糸洲 朝光	天	1' 25" 58"
110MH	仲宗根 孝男	与仲	18" 3	大城 秀雄	兼諸	18" 4	嘉 陽 昇	玉鈺	21" 1
400MR	今泊		49" 0	湧川		50" 3	崎平	今	51" 0
1,600MR	湧川		3' 55" 8	今泊		3' 56" 8	天 底	今	4' 00" 3
年令別400MR	今泊チーム		50" 6	湧川チーム		51" 0	天底チーム	今	51" 8
三段とび	上間 悟	崎平	12米70	長田 宗男	湧	12米20	坂名 政直	天	11米46
走高とび	上間 美穂	向運	1米80	嶺井 政次	今	1米65	山田 重夫	湧	1米65
走巾とび	大城 正秀	崎平	6米15	新城 満	今	5米78	大城 秀雄	兼諸	5米68
植 投	玉城 光次	古	46米70	渡久地 清己	兼諸	46米15	稲 福 一也	今	41米80
棒高とび	謝花 喜和	天	3米30	仲宗根 孝男	与仲	3米20	嘉 陽 崇 隆	湧	3米10
砲丸投	玉城 清朝	今	10米72	運 天安広	向運	10米34	平 哲 男	玉鈺	10米22
円盤投	平良 哲男	玉鈺	31米53	玉城 清朝	古	29米49	与那覇 勝明	今	28米55
(30代~40代)									
100M	石川 博利	湧	12" 2	仲宗根 武一	今	12" 3	真栄田 久	兼諸	12" 7
◎ 1,500M	石川 博利	湧	4' 45" 8	新城 正男	天	4' 46" 9	新城 博道	兼諸	5' 11" 6
走り巾とび	座間 味彰	向運	5米56	仲宗根 武一	今	5米29	仲松 崇一	湧	5米25
円盤投	上間 政勝	崎平	25米91	松根 正廣	兼諸	24米95	高 里 政 宗	今	23米70
(40代~50代)									
100M	西島 一将	与仲	13" 0	山城 義明	湧	13" 1	大城 正行	天	13" 1
◎ 800M	仲本 光秀	今	2' 21" 8	仲宗根 幸彦	湧	2' 36" 8	金城 泰太郎	向運	2' 53" 1
走高とび	宮城 吉男	玉鈺	1米50	玉城 正則	湧	1米45	内間 英松	兼諸	1米40
砲丸投	大城 勝夫	兼諸	9米82	田港 朝和	天	9米59	名 嘉 政 功	兼諸	9米05
(50才以上)									
100M	新城 勝	今	13" 8	新垣 正春	兼諸	14" 5	玉城 清	湧	14" 6
砲丸投	仲宗根 次郎	湧	9米54	松本 光弘	兼諸	8米40	新城 安男	玉鈺	8米04
(女子)									
100M	大城 洋子	兼諸	14" 5	新城 洋子	今	15" 2	渡久地 百合子	兼諸	15" 7
200M	与那覇 理世	兼諸	30" 5	新城 洋子	今	31" 2	内間 カヨ子	湧	34" 7
◎ 400M	仲宗根 清美	湧	1' 16" 1	与那覇 朝枝	兼諸	1' 19" 4	仲松 和美	玉鈺	1' 23" 7
800M	仲宗根 清美	湧	3' 10" 2	金城 幸江	兼諸	2' 37" 2	上間 友子	玉鈺	3' 37" 5
◎ 100MH	上間 美和子	今	18" 0	与那覇 理世	兼諸	19" 6	嘉 陽 りみ子	湧	19" 9
400MR	兼諸 チーム		59" 9	湧川 チーム		1' 01" 1	今泊 チーム		1' 03" 1
砲丸投	内間 カヨ子	湧	7米34.4	新城 久子	天	7米25.3	金城 和江	兼諸	1米20
走高とび	上間 美和子	今	1米35	仲宗根 恵子	湧	1米20	玉城 初美	兼諸	17米82
円盤投	内間 留美子	兼諸	19米85	嘉 陽 孝子	天	19米46	渡久地 百合子	兼諸	3米80
走巾とび	大城 洋子	兼諸	4米22	嘉 陽 りみ子	湧	3米96	松根 加代子	兼諸	15米70
植 投	与那覇 尚子	崎平	22米30	嘉 陽 武孝子	天	20米60			

優勝し今泊(百三十八点)
準優勝し湧川(百五十九点)
(総合)



男子砲丸投に新記録を樹立した玉城選手(古宇利)

十位 仲宗根(三十三点)
十一位 古宇利(二十五点)
優勝し湧川(百十一点)
準優勝し今泊(百五十五点)
三位 天底(八十四点)
四位 兼諸(八十四点)
五位 玉鈺(六八・五五)
六位 越謝(六〇・五五)
七位 崎平(四十九点)
八位 嘉 陽(三十七点)
九位 与仲(三十三点)

十位 古宇利(二十五点)
十一位 仲宗根(三十三点)
優勝し湧川(四十九点)
準優勝し兼諸(四十七点)
三位 今泊(三十三点)
四位 天底(二十六点)
五位 崎平(十九・五五)
六位 玉鈺(十五・五五)
七位 仲宗根(十一・五五)
八位 崎平(六点)
九位 与仲(一点)

なお、今大会は各選手の健闘と応援も加わって充実した大会となりましたが、惜しまれることは、各チームの選手の参加が少なかつたため、午前中にはすでに決勝が行なわれていくこととです。今回は、多くの選手が参加し、なお一層の好記録が樹立できるよう頑張ってください。



男子四百メートルのゴール

近代的な農業をめざして 東部土地改良区が起工式

農業の近代化をめざす東部土地改良区（諸喜田幸福理事長、組合員一、二三人）の起工式が十月八日午前九時から上運天地区において行なわれました。

起工式には、諸喜田理事長、島袋副理事長をはじめ役員担当者、今帰仁建設等



▲東部土地改良区の起工式

関係者が列席し、祝詞奉上的にあい入れなどの神折願が行なわれました。

東部土地改良区は、上運天と勢理客地域の四二、九ヘクタール、畑三三、二ヘクタール、その他一九、七ヘクタールで、約四一％が山林原野で起伏の多い地

形のため、土地改良が強く要請されてきました。

この事業は、昭和五十四年度から五十七年度までの四年連続事業で、三億三千七百九十七万五千円の総事業費となっています。

今年度は、六、七ヘクタールを整地工、岩石除去、千七百七メ



写真1 新公民館(上)と旧公民館(右)

生涯教育といこいの殿堂 勢理客公民館完成

九月の諸志公民館の完成に続いて、字勢理客(仲村守証区長、五三三、二一五)

これまでの公民館は昭和三十年に戦後二回目として建設され、二十余年にわたっては村補助の百万円を除いてすべて字負担で、規模、人口の少ない同字にとって大きな苦勞があったようである。

落成式では、期成会長あいさつ、経過報告、感謝状贈呈などが行なわれ、式の中で喜びのあいさつをした天底小学校六年生産共進会(十月十五日)

九月二十一日から二十八日までの日程で、山形県酒田市をはじめ東北地方へ観光キャラバンと親善訪問団として参加する機会にめぐまれ、新潟、山形、秋田、宮城各県と東部のコースで、無事全日程を終えた。

昨年、一昨年と、山形県酒田市を中心とした周辺五町から冬の保養団として又友好の輪を広める目的で本村を訪れ、南国の風光と豊かな人情に接し満足して帰られたが、今後はこの保養観光は継続する予定である。今回の親善訪問団は、これに対する答礼と、キャラバンによる東北地方全体への誘客宣伝を目的として村ならびに本部町で企画したもので、村からは松田村長、座間味商工会長をはじめ十五人、本部町から十六人の合計三十一人が参加した。

出発に先立ち、二十一日の午前九時から那覇空港で結団式を行い、東京へと向かった。東京から新潟県まで五時間も電車でゆられ、多少強行スケジュールであったが、沖縄とは異なる東北の夜景をながめると全員疲れも吹っ飛んだようだった。

翌日からは、連日各県駅長)を発足させ事業を進めてきた。

ホール、ステージ、事務所、会議室、トイレなどを備えた新公民館は、鉄筋コンクリート造平屋建、二二四・七八平方メートル(六七・五坪)で、国吉設計事務所(名古屋)の請負によるもの。総工費は二百二十万円でなっており、この建設資金の確保については村補助の百万円を除いてすべて字負担で、規模、人口の少ない同字にとって大きな苦勞があったようである。

落成式では、期成会長あいさつ、経過報告、感謝状贈呈などが行なわれ、式の中で喜びのあいさつをした天底小学校六年生産共進会(十月十五日)

市をあげての歓迎に感激 ◆今後も村と酒田市の交流を◆ 東北キャラバンを終えて 訪問

前を中心に揃いのハッピ姿で観光パンフレット、黒糖の配布を行い、東北地方では沖縄はあまり知られていないようだった。又、晩には親睦会・交換会を行い、マスコット等と呼ばれるPRの協力を要請し沖縄のPRの成果は今すぐにはあらわれないだろうが、長い目でみるといつの日か沖縄の観光産業に貢献しよう。

この旅でも印象に残るのは、やはり酒田市の歓迎交流会であった。歓迎会には、相馬酒田市長をはじめ、三役、各部長、議長

周辺五町の三役、それに沖縄の保養団に参加した百三十人の方々が列席していた。安里屋エントラの曲が流れる中を盛大な拍手で迎えられる私たちは、すっかり意欲し感激の連続であった。相馬市長の歓迎のあいさつ、松田村長のあいさつ等の後なごやかな雰囲気の中で双方の余興、記念品交換が行われ、参加者全員が一体となつて山形の花笠音頭や安里屋エントラを踊り、てんぎょうの花を合鳴し、歓迎会は最高潮にもり上がった。このような歓待に、参加者の中には涙を流すものもいて、ふと忘れられようとしていた友の心の温かみを取り戻したような気持ちだった。

この交流会の感激は、いつまでも心の中に蓄積し、思い出として残れることのできないうだろう。

来年の二月には、「市民生涯教育の場」として、各字公民館の重要性ははかり知れないものがあり、地域の人々が最大限に活用することによってその効果があると思われるものと思われ、これを契機に同字の目標である「望ましい人間形成と字の発展に寄与する公民館活動」の展開が期待されることである。

上位入賞を果たした村代表の牛・豚

畜産共進会で優秀な成績を納めた牛・豚も出場。数々の上位入賞を果たし、久々の快挙と賞賛関係者を喜ばせています。

上位入賞を果たした村内の牛・豚は次のとおりです。

●(未経産牛の部)
 優等 仲里双徳(字平敷)
 二四八 岩澤林水産部長賞
 二五〇 諸喜田清幸(字玉城)
 二五二 諸喜田清幸(字玉城)
 (経産牛の部)
 二五三 大城喜英(字平敷)

●(種雄豚若雄の部)
 一〇七七
 ●(種雄豚若雄の部)
 一〇七七
 ●(種雄豚若雄の部)
 一〇七七
 ●(種雄豚若雄の部)
 一〇七七

●(去勢肥育牛の部)
 一〇五二
 ●(山城昌真(字兼次二五六)
 ●(我部朝勝也(字兼七四〇) 豊里友連(字渡喜仁五六)
 ●(未経産豚の部)
 二五三 班名城政光(字天底九四二)
 ●(経産豚の部)
 二五三 喜屋武勇(字渡喜仁二四〇)
 ●(種雄豚若雄の部)
 一〇七七
 ●(種雄豚若雄の部)
 一〇七七
 ●(種雄豚若雄の部)
 一〇七七
 ●(種雄豚若雄の部)
 一〇七七



歓迎式で準ミス復興まつりと踊る松田村長

県消防大会で準優勝

応用操法の村消防団

ポンプ車操法は入賞を逸す



▲ 応用操法の部で準優勝した村消防団

十月二十五日、渡久地新港で行われた第六回沖繩県消防操法大会(沖縄県消防協会の主催)に、北部地区代表として出場した村消防団と那覇消防操法大会は、消防団員の消防技術の向上と土気の高揚を目的に、各地区代表チームが、ポンプ車、小型ポンプ車、応用操法の三部門に分かれ、正確さ、機敏さ、速さを競う大会。村消防団は、十月二日に渡久地新港で行われた北部地区大会において、ポンプ車操法の部と応用操法の部とに優勝し、準優勝した。

お宅の戸締り大丈夫?

防犯村民大会開催される

「両隣互いにかけて」と、渡久地警察署ならびに渡久地地区防犯協会が主催したお宅の戸締り大会、期間中から二十日までの間、全国防犯民運動が実施されました。この運動は、地域に防犯意識を浸透させ、私たちが開りから犯罪をなくしようと言っている。幕の内側、高徳王の遺族を葬っている。陶製の厨子蓋が安置、近くに足を付けた木箱があり、それを上には大きな板木が敷かれている。また二メートル上方に長方形の開口部をもった墓も確認できる。

約二百人が参加し、午後七時から役場西広場で集会を開いた後、仲赤根地区内の防犯活動の強化を訴え、昭和五十年年度中の県内の窃盗犯の発生件数は一万三千件で、千人中十三人の割合で被害にあっているという数字があらわされています。しかも屋内や建物に侵入して現金や物品を狙う侵入窃盗事件の犯罪率は全国、また、一月から六月の間に

連日猛訓練を重ねてきてお宅の戸締り、その成果が実ったものといえそうです。ちなみに、当日の優勝は、ポンプ車操法の部が沖繩市、小型ポンプ車操法の部は那覇市、応用操法は具志川市となっていました。

アジバカ(按司墓)



10

「おじが」で開つてあった。何故、現在の石垣が築かれたかは「運天へ嫁に来た糸満出身の方が見るに忍びず、その竹編みに代わつて石垣を積みめぐらしたものである。嫁に来た人の祖先、親族者は代々よりこの墓を崇拝しており、それ故近くに嫁に来たのでこれを機会にして石垣を築いた」とのことである。

「南島土記」に墓内に木敷数個あつて音「巴子音新」を銘し、「その内二個係(支配者層)にあつた者新しきものに「弘治十三年九月某日」(一五六七年九月)の銘文が記されていた。この銘文の日付けは合葬の日付けののだろうか。土地の人々はここをアジバカと称している。ここに納骨されている人は「北山時代のアジ」連であるといふ。また文献によるとアジバカには第一尚氏最後の

に優勝し、晴れの県大会に北部地区代表として出場した。この部で準優勝を獲得し、県消防操法大会(沖縄県消防協会の主催)に、北部地区代表として出場した村消防団と那覇消防操法大会は、消防団員の消防技術の向上と土気の高揚を目的に、各地区代表チームが、ポンプ車、小型ポンプ車、応用操法の三部門に分かれ、正確さ、機敏さ、速さを競う大会。村消防団は、十月二日に渡久地新港で行われた北部地区大会において、ポンプ車操法の部と応用操法の部とに優勝し、準優勝した。

連日猛訓練を重ねてきてお宅の戸締り、その成果が実ったものといえそうです。ちなみに、当日の優勝は、ポンプ車操法の部が沖繩市、小型ポンプ車操法の部は那覇市、応用操法は具志川市となっていました。

アジバカは運天港の北方にあつて、数十メートルの急崖中に崖面を削り掘つて造つた簡素な掘り抜き墓である。ウーニバカより北方へ百メートル行つたところである。この付近には大小の墓が多くあることから、付近一帯を「ムムジャナ」(ももぢやらももぢる)といふ以前は、竹を編んだ

「おじが」で開つてあった。何故、現在の石垣が築かれたかは「運天へ嫁に来た糸満出身の方が見るに忍びず、その竹編みに代わつて石垣を積みめぐらしたものである。嫁に来た人の祖先、親族者は代々よりこの墓を崇拝しており、それ故近くに嫁に来たのでこれを機会にして石垣を築いた」とのことである。

「南島土記」に墓内に木敷数個あつて音「巴子音新」を銘し、「その内二個係(支配者層)にあつた者新しきものに「弘治十三年九月某日」(一五六七年九月)の銘文が記されていた。この銘文の日付けは合葬の日付けののだろうか。土地の人々はここをアジバカと称している。ここに納骨されている人は「北山時代のアジ」連であるといふ。また文献によるとアジバカには第一尚氏最後の

に優勝し、晴れの県大会に北部地区代表として出場した。この部で準優勝を獲得し、県消防操法大会(沖縄県消防協会の主催)に、北部地区代表として出場した村消防団と那覇消防操法大会は、消防団員の消防技術の向上と土気の高揚を目的に、各地区代表チームが、ポンプ車、小型ポンプ車、応用操法の三部門に分かれ、正確さ、機敏さ、速さを競う大会。村消防団は、十月二日に渡久地新港で行われた北部地区大会において、ポンプ車操法の部と応用操法の部とに優勝し、準優勝した。

連日猛訓練を重ねてきてお宅の戸締り、その成果が実ったものといえそうです。ちなみに、当日の優勝は、ポンプ車操法の部が沖繩市、小型ポンプ車操法の部は那覇市、応用操法は具志川市となっていました。

役場Cチームが準優勝

村役場野球部「鎌倉田長生監督」が先ごろ行われた「北部地区秋季野球大会C組」において、結成三年目にして初の準優勝を挙げた。

一回戦全電通に七対一、二回戦沖バスに九対五、三回戦名譽自動車工業に八対三、準決勝愛楽園に七対三と勝ち進んだが、決勝戦では自治労本部に二対一と力及ばず惜敗した。

上間さんに感謝状

村の人権擁護委員である上間カズさん(字上運天 418)が、この度那覇地方法務局より表彰を受けた。

上間さんの表彰は、長年にわたり人権擁護委員として地域住民の人権と自由人権の普及と高揚に努めた功績が認められたもの。

伊波市サンビセンター 長来村

十月二十五日、ブラジルサンパウロ州サンビセンター市伊波市長が、長来村を訪れた。伊波市長は村出身の伊波節子さん(母、長来村)をお母さんとして、羽地伸尾次出身の伊波氏をお父さんとして、日本語学校に学んだだけでも日本語もウチナー口もワカヤヒンドウとチャットがたつぷり。

市長室で松田村長、喜陽村長と懇談した後、北山城跡を見て回った。

農林業への協力

今後の農業行政に利用

十二月一日から七日まで、一九八〇年世界農林業センサス調査が実施されました。農業セリナスは、統計法に基づき五年に一回実施されるもので、今後のあらゆる農政に利用されます。したがって純然たる今帰仁村に任じられたら、これは大変重要な調査です。調査内容は、作目、経営耕地、農業用機械所有状況、農産物販売金額、専業業別農家従事者数などとなっています。この調査は、県ならびに市町村別にまとめ、わが国の農業経営の実態を明らかにし、さらに過去の調査結果とも照らし合わせて農業経営の推移も知ろうとするものです。

十一月一日から

今帰仁村は、今年八月十八日に昭和四十四年度農政特別対策事業、地域農政推進活動実施村として指定を受けました。現在、指定を受けると大きく社会的経済状況は大きく変わってきています。したがって、私たちの農業は、次第に複雑化してきており、解決しなければならぬいろいろな問題が生じてきています。そこで、地域農業について改めて体制を直して、その振興を図っていくことが必要です。こうしたことから、この

地域農政推進活動 実施村として指定

アンケート調査の協力を

今帰仁村は、今年八月十八日に昭和四十四年度農政特別対策事業、地域農政推進活動実施村として指定を受けました。現在、指定を受けると大きく社会的経済状況は大きく変わってきています。したがって、私たちの農業は、次第に複雑化してきており、解決しなければならぬいろいろな問題が生じてきています。そこで、地域農業について改めて体制を直して、その振興を図っていくことが必要です。こうしたことから、この

世界に行なわれる調査で、各農家には日々の仕事も忙しくて面倒だとthoughtもありませんが、調査員が各家庭を訪問する際は「ご協力をお願いします。」とお願いをします。もちろん、調査に当たっては個人の秘密が守られ、税金、その他に利用されることはありませんので、躊躇なくよく正確にお答え下さい。

11月 国民年金普及推進月間

特別納付は来年の六月三十日まで！

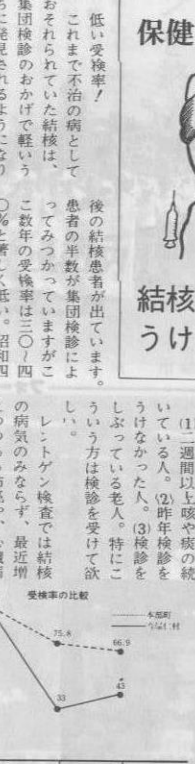
加入者が法律で決められていますが、国民年金は、他の制度に加入してない、農漁業、商工業、サ

は、物価スライドや法律の改正によって大幅に改善されてきました。将来も、老後の生活保障を確かなものにするため、大きく改善されることは間違いないとされています。国民年金に関することは、まず役場にご相談を、



結核の検診を受けましょう

昭和四十九年と昭和五十三年に比べて八倍の患者発見となりました。これからますます増えると思われる患者がいると思われず、（1）二週間以上咳や痰の続くような人、（2）昨年検診を受けていない人、（3）検査を受けていない人、特にこのうい方は検診を受けて欲しい。



11月のカレンダー

16日(金)	住民検診 (09:00~16:30 役場ホール)
17日(土)	健康相談 (09:30~12:00 保健婦室) 天底校区婦人の体力テスト (14:00 天小体育館)
18日(日)	各種団体ソフトボール大会
19日(月)	乳児健診 (13:00~ 役場ホール) 北公連研究会 (名護し尿地処理)
20日(火)	三才児健診 (13:00~ 役場ホール) インフルエンザ予防接種 (兼小中、幼)
21日(水)	(薄小中、幼) 心配ごと相談 (13:30 中央公民館) インフルエンザ予防接種 (今小、幼)
22日(木)	北部学校給食主任栄養士会 (09:00~中央公民館) 勤労感謝の日 (公休日) 健康相談 (08:30~12:00 保健婦室) 青年レクレーション研修 (25日まで 名護青年の家) 新報料理教室 (13:30 中央公民館) 村婦人バレーボール大会 (09:00 場所未定)
23日(金)	妊婦相談 (13:00 役場ホール)
24日(土)	年金相談 (30日まで 09:00~17:00 役場年金係) 農業セリナス説明会 (09:00 中央公民館) 新生活運動指導者研修会 (10:00 北部会館) インフルエンザ予防接種 (今中) 心配ごと相談 (13:30 中央公民館) 高齢者教室 (14:00 中央公民館) 青年教室 (19:00 中央公民館) 婦人学級 (14:00 中央公民館)
25日(日)	DPT予防接種 (対象者一第三区、追加) 13:00~15:00 役場ホール 県視聴覚研究会 (那覇)
26日(月)	健康相談 (08:30~12:00 保健婦室)
27日(火)	沖縄県公民館研究会 (那覇市民会館)
28日(水)	インフルエンザ予防接種 第二回目 (兼小中、幼)
29日(木)	
30日(金)	
12月1日(土)	健康相談 (08:30~12:00 保健婦室)
2日(日)	沖縄県公民館研究会 (那覇市民会館)
7日(金)	インフルエンザ予防接種

寄附

字与那覇出身で東京在の仲里達雄さんから村育英会へ10万円の寄附がありました。

香典返し

字湧川出身で那覇市久米在の玉城司さんから御尊父玉城武川さんの香典返しとして2万円の寄附が村社福祉協議会にありました。

ご芳志ありがとうございます。

今年で国民年金も二十歳加入することが法律で決められていますが、国民年金は、他の制度に加入してない、農漁業、商工業、サ
 ●この国民年金制度が創設されて以来二十周年を迎えますが、沖縄県において、昭和四十五年においでも、昭和四十五年に同制度が実施されてから、十年目の記念すべき年を迎えることになりました。

●今帰仁村の国民年金事業も着実に発展してきました。この十年の間に、今帰仁村における国民年金事業も著実に発展し、現在では、村人口の三分の一近い三千六百十人余りの人が国民年金に加入しています。

●また、国民年金の老齢年金（六十歳から受ける年金）を受けられている人が七百四十二人、老齢福祉年金（六十歳以上の人を受けている

国民年金を受けているのが七十九十三人もおり、この両方を受けると今帰仁村の六十五歳以上の人口千四百六十人の実に九八・三％にあたる千四百三十五人の方が国民年金を受けていることになりました。

●それでも年金を受けることができない人がいます。しかしながら、悪いことには、当然国民年金に加入しないわけにはいきません。一時的に思い違いや、忙しさにまぎれたり、経済上の理由から加入していない人や、加入し忘れている人もいます。これを補正するために、将来年金を受けたい人が、今帰仁村におきまが今帰仁村にもあります。このような人は、国民年金だけでなく、もし以前に厚生年金や共済組合などに加入し保険料を納めた期間があれば、その期間も掛け捨てになるおそれがあります。

●申し込みをする場合は、早いほどいいので、お早めに。今帰仁村府県の特納付制度を

県民手帳の予約について
 沖縄県統計協会は、県勢が一目でわかる便利なシステムとして昭和五十二年版沖県民手帳を発刊いたしました。

この県民手帳は、沖縄県および県内市町村、各都道府県のすがたを数字によって